

様式第2号(第9条関係)

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回介護保険等運営審議会			
開催日時	令和5年5月29日(月) 開会時刻 午後1時15分 閉会時刻 午後2時15分			
開催場所	本庁舎 A301会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	石川 亮	委員	野溝 守
	副会長	小泉 二三枝	委員	吉村 晃太
	委員	叶澤 聡	事務局	齊藤高齢福祉課長
	委員	前田 守隆	事務局	藤茂登高齢福祉課主幹
	委員	内藤 浩由	事務局	味戸保健センター副所長
	委員	樂山 久	事務局	中村地域支援係長
	委員	松本 三香子	事務局	木村介護保険係長
	委員	佐藤 昇	事務局	末永主任
	委員	葛籠貫 順久	事務局	大高主事補
	委員	戸部 勝代	事務局	吉野専任主査
	委員	佐藤 茂	ぎょうせい	上野主任研究員
	委員	島袋 俊子		
会議の議題	(1) 第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の令和4年度実績について (2) 第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査結果について			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			

会 議 資 料		(1) 次第 (2) 第8期ふじみ野市高齢者保健福祉計画 令和4年度実績報告 (3) 第9期ふじみ野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定のためのアンケート調査結果
事 務 局		福祉部高齢福祉課
議 事 確 定	確定年月日	令和 6年6月29日
	記名押印	役職名 会 長 石 川 亮 ⑩

別紙

発言者	発言の要旨
事務局	【開会】
会長	挨拶
事務局	職員紹介 配布資料の確認
石川会長	それでは、早速議題に入ります。最初に、「第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の令和4年度実績について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>始めに、高齢福祉課の主管する実績について、説明させていただきます。</p> <p>令和4年度につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響で、特に新たな活動や新たなボランティアなどのマンパワーを獲得するという部分においては、計画どおりとはいかない部分もあり、自己評価が「△」の部分もありますが、感染対策を講じた上での活動、オンラインや形を変えての取組また制限が緩和されたこともあり、全体的には、大きな遅れや停滞なく、取組が推進できたかと思えます。</p> <p>一部では活動の停滞、地域のつながりの希薄化、閉じこもりがちになった高齢者の増加など、課題もありましたので、今後、コロナ前の状況に近づけるよう取り組んでいけたらと考えております。</p> <p>時間の関係もありますので、事務局として、特に課題や重点と考える部分、「介護予防」「認知症施策」「権利擁護の支援強化」を中心に説明いたします。</p> <p>まず、5ページ下段から8ページにございます、介護予防関係です。高齢社会の進展により、公的サービスだけで対応できない部分を補うべく、5ページの介護予防・日常生活支援サービスにあたります、「住民主体型サービス」や7ページ介護予防普及啓発事業の「通いの場」の創出は重要と認識しております。</p> <p>通いの場は、41か所ございますが、令和2年度から活動を休止している所があります。令和4年度は、39か所が活動しましたが、新規立ち上げには至らなかったことから、評価を「△」としました。しかしながら、立ち上げに係る支援を進めまして、今年度に入り、既に複数か所の立ち上げの話があります。住民主体型サービスにつきましても、本市においては好事例、先行事例がございます。それらを把握・集約しながら介護予防に資する取組の充実を図ってまいりたいと考えております。</p>

発言者	発言の要旨
木村係長	<p>次に、14 ページから 17 ページの認知症施策について説明します。認知症関連の相談やひとり歩きの事例は、年々増えており、2025 年には、65 歳以上の 5 人に 1 人が認知症になると言われており、今後、ますます力を入れる必要がございます。</p> <p>15 ページをご覧ください。「認知症サポーター養成者数」について、養成者累計の目標値 17,000 人には届いておりませんが、16,609 人の養成しております。特に本市では、他市と比較して小中学校での養成が定着しており、地域で高齢者を支えていく、小さい頃から高齢者や認知症を学ぶという点で非常に効果的だと考えております。半面、企業等での養成がまだ少ない状況でございます。高齢者の日々の生活を支援するということを考えると、非常に有効と思われ、力を入れて取り組んでいきたいと考えております。また、16 ページにございます認知症高齢者やその家族が集える「オレンジカフェ」の取組についても、コロナで停滞してしまった部分がありますので、活動の再開や新たな立ち上げを推進し、地域で認知症の課題を抱える方を支える体制の充実を図りたいと思っております。</p> <p>3 点目に、17 ページの権利擁護の支援強化についてです。令和 2 年度に市社会福祉協議会に委託して運営しております、成年後見センターの周知が進んだこと、支援を要する方の増加もあり、相談件数、市長申立件数と増加しております。成年後見センターと連携しながら必要な方が必要な支援につながるよう取り組んでまいりたいと思います。また、需要の高まりから市民後見人の育成も急務であると考えておりますので、市社会福祉協議会と協力しながらふじみ野市初の市民後見人選任を目標に進めてまいります。</p> <p>最後になりますが、10 ページ上段の在宅医療、介護連携推進事業に係る実績欄をご覧ください。本市では、令和 3 年度に訪問医等に対する発砲事件がございました関係で、「ふじみ野市地域の医療と介護を守る条例」を制定し、本年 4 月 1 日から施行しております。今年度から条例に定められている基本施策に基づき、ハラスメントの防止の啓発キャンペーンの実施を予定しておりますので、加えて、報告させていただきます。私からの報告は以上になります。続いて、木村係長お願いします。</p> <p>では、私からは介護保険係が所管しております事業の中で主なものを報告させていただきます。</p> <p>20 ページから 21 ページにございます介護給付の適正化については、①から⑥の 6 事業がございしますが、全て順調に実施できている状態です。</p>

発言者	発言の要旨
味戸副所長	<p>21 ページ下にごじます地域密着型施設の整備については、3月に開催した運営審議会にて報告させていただいたとおり、令和4年度の整備を見送り、令和5年度に実施することになりました。</p> <p>続いて、保健センターの実績報告をお願いします。</p> <p>資料1 ページから5ページまで保健センターで実施しました事業について報告させていただきます。保健センターにおいてもコロナ禍の影響を受けまして人数を制限したことにより目標を達成できなかったことがあります。また、人的な要因としまして保健センターではコロナワクチン接種の業務が入ってきたこともあり職員が通常どおりの業務ができなかった影響もあります。</p> <p>まず、健康づくりに関する情報の提供ですが、地域において活動いただいております保健推進委員と協力して実施しています。各地域で工夫して実施していただいたところですが、感染対策のため参加人数を半分程度に制限して実施したものです。</p> <p>②については元気健康マイレージ事業ですが、年々参加者が増えており、令和4年度には5,000人を超える方に参加をしていただいております。</p> <p>健康教育は外部講師を招いて健康セミナーを実施した。4年度からはオンラインでの参加の環境を整えた。</p> <p>健康相談は、対面での相談を控えられた方が多く、目標に達していない。また、訪問指導もコロナ禍で中止したため、電話で健康相談を実施した。</p> <p>がん検診については、資料のとおりですが、コロナの影響を受けており、目標値には達しなかったものです。</p> <p>4ページの予防接種ですが、高齢者インフルエンザですが、コロナ前より接種率が上がっている状況になっている。高齢者肺炎球菌の実施状況は、同じような接種状況になっている。</p> <p>特定保健指導は、コロナの影響も低くなっている。歯科検診についても、コロナの影響を受けてはいますが、徐々に伸びてきている状況です。</p> <p>最後に、かかりつけ医との連携強化ですが、4月号の市報に健康カレンダーを入れて情報提供を行っている。</p> <p>休日急患診療所は、コロナの影響で休診していたが、4月からは再開している。第二次救急医療病院群輪番制の整備についても、引き続き広域連携による医療体制の確保に努めています。</p>
石川会長	<p>保健センターからは以上です。</p>

発言者	発言の要旨
石川会長	ただいま、「第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の令和4年度実績について」説明がありました。質問、意見などがありますか。
事務局	実績報告資料7Pの介護予防のぴんしゃん体操について、男性の方が少ない気がするが、男女比はどのようになっているのか
石川会長	どんな介護予防事業をやっても、だいたい男性2割、女性8割となっている。
事務局	認知症サポーター養成講座も女性の方が多いのか。
石川会長	認知症サポーター養成講座は、男性も参加しており、小中学校の児童・生徒もいるので、男女比は半々だと思う。
石川会長	ぴんしゃん体操は何とか男性も参加できるようにお願いしたい。
事務局	他に質問等はないようですので、質疑を終了します。次に、「第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査結果について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。
	<p>お手元に配布の調査結果報告書は180ページほどありますので、資料として配布いたしました各調査結果からみえる課題で説明します。この4つの調査から見える課題が全部で13あります。</p> <p>① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</p> <p>課題1 体力の維持向上と「転倒」予防対策</p> <p>課題2 高齢者の居場所づくりと地域活動への参加促進</p> <p>課題3 各種相談窓口の認知度向上と周知</p> <p>課題4 介護予防センターの利用と介護予防への取組の促進</p> <p>② 在宅介護実態調査</p> <p>課題5 認知症に対する理解の促進と相談窓口の周知</p> <p>課題6 介護に取り組み家族等への支援の充実</p> <p>課題7 在宅生活を継続するための支援の充実</p> <p>③ 若年者調査(40～64歳)</p> <p>課題8 健康づくり意識の向上と取組</p> <p>課題9 介護予防への取組の促進</p> <p>④ 介護サービス事業所調査</p> <p>課題10 介護人材の確保及び育成に対する支援</p> <p>課題11 事業所における事故、災害時対応への支援</p>

発言者	発言の要旨
	<p>課題 1 2 介護施設、事業所における業務継続計画（BCP）作成支援</p> <p>課題 1 3 医療機関・介護事業所従事者へのハラスメント防止の強化</p> <p>以上の課題について、資料に沿って説明</p>
石川会長	<p>ただいま、議題 2 について事務局より説明がありましたが、質問、意見などがありますか。</p>
佐藤昇委員	<p>若年者調査の回収率が 49.2%というのはわかるが、介護サービス事業所調査の回収率が 57.4%というのは、市と共同で介護事業を展開している事業所の調査としては、回収率が低いような気がする。ただ、回収率が上がったところで結果は変わるとは思えない。質問というより意見である。</p>
石川会長	<p>ほかに質問等ないようですので、質疑を終了します。</p> <p>最後に、「その他」に移ります。事務局から連絡事項はありますか。</p>
事務局	<p>次回会議の日程を報告</p>
小泉副会長	<p>閉会</p>